

令和3年第3回美祢市議会定例会会議録（その5）

令和3年10月13日（水曜日）

1 出席議員

1番	石井和幸	2番	山下安憲
3番	田原義寛	4番	岡村隆
5番	藤井敏通	6番	村田弘司
7番	杉山武志	8番	坪井康男
9番	猶野智和	10番	秋枝秀稔
11番	岡山隆	12番	高木法生
13番	三好睦子	14番	荒山光広
15番	山中佳子	16番	竹岡昌治

2 欠席議員 なし

3 出席した事務局職員

議会事務局長	石田淳司	議会事務局係長	阿武泰貴
議会事務局主査	篠田真理		

4 説明のため出席した者の職氏名

市長	篠田洋司	副市長	波佐間敏
教育長	中本喜弘	病院事業管理者	高橋睦夫
代表監査委員	重村暢之	デジタル推進部長	田辺剛
総務企画部長	藤澤和昭	市民福祉部長	志賀雅彦
建設農林部長	西田良平	観光商工部長	繁田誠
会計管理者	山本幸宏	教育委員会事務局 教育次長	末岡竜夫
上下水道局長	白井栄次	病院事業局管理部長	安村芳武
消防長	松永潤		

5 付議事件

日程第1 会議録署名議員の指名について

日程第2 議案第69号 令和2年度美祢市一般会計決算の認定について

日程第3 議案第70号 令和2年度美祢市国民健康保険事業特別会計決算の認定
について

日程第4 議案第71号 令和2年度美祢市環境衛生事業特別会計決算の認定について

日程第5 議案第72号 令和2年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計決算の認定について

日程第6 議案第73号 令和2年度美祢市介護保険事業特別会計決算の認定について

日程第7 議案第74号 令和2年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について

6 会議の次第は次のとおりである。

午前10時00分開議

○議長（竹岡昌治君） おはようございます。これより、本日の会議を開きます。

この際、事務局より諸般の報告をいたさせます。事務局長。

○議会事務局長（石田淳司君） 御報告いたします。

本日配付してございますものは、議事日程表（第5号）、以上1件でございます。御報告を終わります。

○議長（竹岡昌治君） 本日の議事日程は、配付いたしております日程表のとおりでありますので、御協力のほどお願い申し上げます。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、議長において、杉山武志議員、坪井康男議員を指名いたします。

この際、市長より発言の申出がありましたので、これを許可いたします。篠田市長。

〔市長 篠田洋司君 登壇〕

○市長（篠田洋司君） 議長のお許しをいただきましたので、1件の御報告をさせていただきます。

美祢市公設塾についてであります。

去る10月9日に、議長、副議長、教育民生委員長の御列席の下、美祢市公設塾minetoのオープニングセレモニーを開催いたしました。

本市での公設塾の開設は私の公約の1つであり、このたびの開塾に至りましたこと、この場をお借りして、市議会、教育委員会、そして塾生の保護者の方々など、多くの関係者の皆様方にお礼を申し上げる次第であります。

美祢市公設塾は、教育委員会が実施主体となり、昨年度から県内外の類似した取組を視察するなど、調査・研究を積み重ねた結果、塾のコンセプトを「子どもたちの好奇心を引き出し、挑戦する力を育てること」と定め、塾生の対象を中学生とし、「mineto（みねと）」とネーミングしたところであります。

開設場所は、公共交通を利用した通塾が可能なJR美祢駅周辺の既存の建物の活用を考慮した結果、旧消防本部庁舎を利活用しております。

公設塾minetoの講師は、国の地域おこし協力隊制度を活用し、20代の若者を採用しております。現在、若いながらも、様々な経歴を持つ個性豊かな3人の地域おこ

し協力隊員が塾講師を務めておりますが、間もなく、もう1人の地域おこし協力隊員を採用できる見込みであり、当初の予定どおり4人の塾講師がそろうこととなります。

彼ら塾講師は、このたびの公設塾mineto開設に至るまで、入塾生を募集するため、本年7月から市内の全中学校や公民館などで塾の説明会を行った結果、中学1年生から3年生まで、大嶺中学校を中心に複数の中学校から25人の塾生が集まったところであります。

オープニングセレモニーでは、第1期生25人の皆さんの力強い決意の言葉をお伺いさせていただき、彼らの今後の成長を大いに期待しているところであります。

一方、人を育てるといふ人材育成の成果を短期間でお示しすることは簡単なことではないとも感じております。

そのため、公設塾minetoでは、塾のコンセプトを軸に、長期的な視点で根気強く美祢の子どもたちに関わっていくことが必要であると考えており、子どもたちに寄り添ったきめ細やかな事業検証を続けていくこととしております。

以上、私の公約であります公設塾を開設することができましたので、これまでの議会の皆様方の御理解と御協力に対するお礼と今後の温かい御支援をお願いいたしまして、公設塾minetoのオープニングセレモニーの御報告とさせていただきます。

なお、公設塾minetoは、随時入塾生をお受けしておりますので、御関心のある方は、教育委員会へお問合せいただきますよう、よろしく願いいたします。

以上、報告とさせていただきます。

〔市長 篠田洋司君 自席に着く〕

○議長（竹岡昌治君） 日程第2、議案第69号から日程第7、議案第74号までを会議規則第35条の規定により一括議題といたします。

本件に関し、常任委員長の報告を求めます。総務企業委員長。

〔総務企業委員長 猶野智和君 登壇〕

○総務企業委員長（猶野智和君） ただいまより、去る10月5日に開催しました総務企業委員会の委員長報告を申し上げます。

まず、議案の審査結果から御報告いたします。

さきの本会議において、本委員会に付託されました議案第71号令和2年度美祢市環境衛生事業特別会計決算の認定についての1件について、委員全員出席のもと慎

重に審査いたしましたところ、全員異議なく原案のとおり認定しております。

本議案については、委員より質疑がありましたが、ここでは割愛させていただきます。

以上をもちまして、総務企業委員会の委員長報告を終わります。

〔総務企業委員長 猶野智和君 発言席に着く〕

○議長（竹岡昌治君） 総務企業委員長報告に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） 質疑なしと認め、総務企業委員長の報告を終わります。

〔総務企業委員長 猶野智和君 自席に着く〕

○議長（竹岡昌治君） 続いて、教育民生委員長の報告を求めます。

〔教育民生委員長 杉山武志君 登壇〕

○教育民生委員長（杉山武志君） ただいまより、去る10月5日に開催いたしました教育民生委員会の委員長報告を申し上げます。

まず、議案の審査結果から御報告申し上げます。

さきの本会議におきまして、本委員会に付託されました議案4件について、委員全員出席のもと慎重に審査いたしましたところ、議案第72号及び議案第73号の2件は全会一致にて認定、議案第70号及び議案74号の2件は賛成多数により認定しております。

これらの議案につきましては、委員より質疑が行われましたが、ここでは割愛させていただきます。

以上で、教育民生委員会の委員長報告を終わります。

〔教育民生委員長 杉山武志君 発言席に着く〕

○議長（竹岡昌治君） 教育民生委員長報告に対する質疑はございませんか。荒山議員。

○14番（荒山光広君） 質疑ではございませんけども、1件、確認とお願いがございますけどよろしいでしょうか。

○議長（竹岡昌治君） はい。

○14番（荒山光広君） 去る10月5日の教育民生委員会の場におきまして、議案第74号令和2年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定についての議題、その中の質疑において、三好委員から監査に関わるちょっと発言がございましたので、

その確認と善処についてお願いをしたいというふうに思います。

三好委員の質疑の冒頭で、監査意見書の数字が少し違うように思うんですけどというふうなことと、その中で、収納率について数字が違う——執行部と監査意見書の数字が違うんじゃないかという発言があったというふうに思っております。

監査委員としましては、重村代表監査委員と事務局と合議の上、この監査意見書を調整したわけですけども、その数字が違うというふうな発言があったわけなんですけども、これは監査委員会としても看過できない発言じゃないかなというふうに思っております。

監査の威厳に関わる発言でございますので、委員長におかれまして、そういった発言があったという確認と、この発言に対して善処を求めたいというふうに思っております。

質疑の中で、いろいろ発言されるのは結構かと思っておりますけども、市民に誤解を与えるような発言、また、監査意見書と執行部の数字が違うというふうな、ちょっと監査委員会とすれば看過できませんので、その辺のことについて、委員長に善処を求めたいというふうに思っております。よろしいでしょうか。

○議長（竹岡昌治君） 教育民生委員長。

○教育民生委員長（杉山武志君） ただいま発言がございました。私も同様に感じていたところではありますが、委員会を運営する中で、慎重に耳を研ぎ澄まし、発言等には、今後注意を払っていきたいなという思いではあります。

また、今回のことにつきましては、御本人と少し調整が図れておりますので、後ほど御本人のほうからお言葉があろうと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

○議長（竹岡昌治君） ちょっと待ってください。荒山議員、監査委員会とおっしゃったと思うんですが。会じゃなくて監査委員。それで結構ですね。（発言する者あり）質疑——訂正発言か何かですか。議論は控えさせていただきたいと思っております。（発言する者あり）いやいや、中身をちょっと教えてください。訂正をされるんでしょうか、それとも……（発言する者あり）はい、じゃあ結構です。三好議員。

○13番（三好睦子君） まず初めに、委員長の報告の中で、73号は賛成——全員賛成でしたでしょうか。ちょっと2件と言われたので、私はこれに反対してるんですけど。

○議長（竹岡昌治君） 恐れ入ります、ちょっと暫時休憩します。

午前10時13分休憩

午前10時14分再開

○議長（竹岡昌治君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。教育民生委員長。

○教育民生委員長（杉山武志君） 当時、三好委員から反対の意見が述べられましたけど、その際、反対意見を述べられましたが、御意見は制度に対するものでありまして、このたびの議案にそぐわない案件ということで申し上げたと思います。

本件に関しましては、御意見なしと取り扱わせていただきますというふうに、私は締めくくらせていただいております。

○議長（竹岡昌治君） もう1回お聞きします。先ほど、荒山監査委員からありましたことに対しての訂正ですか、それとも——質疑は受け付けませんが。

○13番（三好睦子君） 質疑ではありません。

○議長（竹岡昌治君） そう言いながら今の——おかしいじゃないですか、あなたの発言は。

○13番（三好睦子君） いいですか。

○議長（竹岡昌治君） いや、よくないです。訂正を求めると……

○13番（三好睦子君） 訂正とお詫びを……

○議長（竹岡昌治君） とおっしゃりながら、73号について、私は反対したつもりだけれどとおっしゃったんですが。（発言する者あり）ちょっと待ってください。訂正発言ですか、もう1回お伺いします。

○13番（三好睦子君） 議長。

○議長（竹岡昌治君） いや、返事をされてないんで、指名できないんですよ。

○13番（三好睦子君） 訂正についてです。

○議長（竹岡昌治君） 三好議員。

○13番（三好睦子君） 先ほど、監査委員からもお話がありましたが、委員会での私の発言は、「今の説明と監査意見書の数字が少し違うように思うんですけど——思うんですけど、また、私が言うと少しずれ——私が言うのと少しずれたことがあったらすみません」と述べています。

また後で、こちらでは、ちょっと数字がここ——会議録にはないんですが、「数

字が違うと——違うんですけれど」とも述べています。

それは、私は執行部の説明を聞きながら、成果報告書っていうんですが、私はタブレットから印刷をして詳しく調べたいと思ひまして、いろいろこの監査意見——審査意見書と成果報告書ともう1つあるんですけれど——決算報告書というのがあるんですけれど、今日持って来ていますけど——この中にありました。

この令和2年度決算書というのを、こう見比べてました。特に、この初めの成果報告書と意見書とはしっかりと見たつもりなんですけど、同時にタブレットを見ながら、これを見ながら同時に見たので、パタパタ見開きしながら、あらっと思ったんで、数字が違うのではないかなという感じがして、先ほどの発言になった……

○議長（竹岡昌治君） 三好議員。

○13番（三好睦子君） 先ほどの発言になったのですが、申し訳ありません。

○議長（竹岡昌治君） 三好議員、言い訳はいいんです。訂正をされますか、されませんかとお聞きしてるんです。

○13番（三好睦子君） 訂正いたします。そして、訂正とお詫びを申し上げます。

○議長（竹岡昌治君） それで結構です。

ほかに教育民生委員長報告に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） 質疑なしと認め、教育民生委員長の報告を終わります。

〔教育民生委員長 杉山武志君 自席に着く〕

○議長（竹岡昌治君） 続いて、予算決算委員長の報告を求めます。予算決算委員長。

〔予算決算委員長 高木法生君 登壇〕

○予算決算委員長（高木法生君） ただいまより、去る10月6日から7日の2日間で開催いたしました予算決算委員会の委員長報告を申し上げます。

まず、議案の審査結果から御報告いたします。

さきの本会議におきまして、本委員会に付託されました議案第69号令和2年度美祿市一般会計決算の認定についての1件について、委員全員出席のもと慎重に審査いたしましたところ、賛成多数で原案のとおり認定しております。

それでは、議案の審査過程において、委員より多くの質疑等がなされましたが、ここでは、10月7日に市長出席のもと総括質疑を行っておりますので、その内容の主なものを御報告いたします。

委員より、自主財源の主たる市民税が減ってきている中、さらに、コロナ禍の今だからこそ定住に向けて様々な政策、施策を展開していくことが必要であり、移住相談を受けたからには、きちんと分析を行い、今後の定住に結びつけていくことが大変重要であると考えているが、市長のお考えをお伺いするとこの質疑に対し、市長より、きちんとした事業検証を行わなければ次の政策は打てないため、移住に関しては、本市に何が不足しているのか、最終的に移住に結びつかなかった理由などしっかりと検証し、移住・定住人口の増につなげていきたいと考えますとの答弁がありました。

次に、委員より、新たな地域公共交通網形成計画の策定に当たっては、利用者が減っている中、どのような視点で取り組まれるのか、市長のお考えをお伺いするとこの質疑に対し、市長より、地域に拠点をネットワークで結ぶことに主眼を置いています。また、最も重要なことは、いかに交通弱者の方が利用しやすい公共交通網を形成していくかという視点であると考えていますとの答弁がありました。

次に、委員より、財政運営について、公営企業会計も含めて総合的に判断し、運営していくことで、財政基盤を強化していくことが必要と考えるが、市長の方針をお伺いするとこの質疑に対し、市長より、まずは一般会計を健全に保つことが必要であり、病院への繰出金については、基準内繰入れのみで運営できる体制をつくるとともに、それに係る繰出金はしっかり確保していきたいと考えています。また、今後の動向を見据え、大規模インフラへの適正な投資、高齢人口の増加に対する必要な扶助費の確保、さらに、住民生活に直結しない歳出は絶えず見直しを図ることで、健全な財政運営に努めてまいりますとの答弁がありました。

次に、委員より、婚活を支援するハッピーウェディング支援事業は、人口を増やすためにも大変重要なものと考えているが、こういった婚活を支援したいという方々に対して、市として支援するお考えはあるかお伺いするとこの質疑に対し、市長より、婚活の支援には、行政としても力を入れていくべきだと考えています。現在、北浦3市で共同実施する提案もいただいております、様々な提案をお聞きしながら、可能な部分から実施していきたいと考えていますとの答弁がありました。

本議案につきましては、このほかにも委員より質疑・意見等がありましたが、ここでは割愛させていただきます。

また、本議案については、反対意見がありましたが、ここでは割愛させていただきます。

きます。

以上をもちまして、予算決算委員会の委員長報告を終わります。

〔予算決算委員長 高木法生君 発言席に着く〕

○議長（竹岡昌治君） 予算決算委員長報告に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） 質疑なしと認め、予算決算委員長の報告を終わります。

〔予算決算委員長 高木法生君 自席に着く〕

○議長（竹岡昌治君） 以上をもちまして、常任委員長の報告を終わります。

これより、議案の討論、採決に入ります。

日程第2、議案第69号令和2年度美祢市一般会計決算の認定についての討論を行います。本案に対する御意見はございませんか。山下議員。

○2番（山下安憲君） この議案につきまして、反対の立場で意見を述べさせていただきます。

令和2年度というのは、新型コロナウイルス感染症対策が極めて多くの費目に影響を与えた年度だったということは、皆さん御承知のとおりだと思います。

このような中、行政として、不完全とはいえ、市民の命、生活、経済活動を守る一定の支援については、評価に値する事業もあります。

しかし、コロナ禍というものは、この年度に始まった会計年度任用職員制度における職員の将来に対する経済的不安、生活や就業、病気で困っている人のケアにあたる業務委託を含めた職員の業務拡大による負担、そして、市の指定管理を受けた団体で一生懸命働く人たちの仕事の先行きに対する不安、こういったものまでも蔓延させました。彼らの不安や苦難を和らげ希望に導くのは、彼らの大元の雇主である市長の手腕にかかっていたのではないのでしょうか。

また、この議案には、議員の皆さんから、成果を今後どうつなげていくかという質疑に対して、市長をはじめ、執行部からは明確な展望が示せない場面が多々あったことは残念でなりません。

以上、2点をもちまして、私の反対意見とさせていただきます。

以上です。

○議長（竹岡昌治君） ほかに。賛成の方の意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） それでは、ほかに御意見なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第69号を採決いたします。本案に対する委員長報告は原案認定であります。委員長報告のとおり決することに御異議ございませんか——ごめんなさい。恐れ入ります、反対意見がございました。

これより、議案第69号を採決いたします。本案に対する委員長報告は原案認定であります。本案について、原案のとおり認定することに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（竹岡昌治君） 挙手多数であります。よって、本案は原案のとおり認定されました。

日程第3、議案第70号令和2年度美祢市国民健康保険事業特別会計決算の認定についての討論を行います。本案に対する御意見はございませんか。三好議員。

○13番（三好睦子君） この議案に対して、反対意見を述べます。

不納欠損額、これは亡くなられた、また——亡くなられた方などの理由で、保険税の支払いを請求することができなくなったり、入金の見込みがなくなった額などが示されているのですが——これ不納欠損ですが、この金額が約1,200万円あります。

また、収入未済額、これは令和2年度中に入金がなかった保険税額で約9,000万円あります。この収入未済額は、やがて不納欠損額になっていく要因にもなるのではないかと思います。これらの解決には、国保税を引下げて支払いやすくすべきです——だと思います。

令和2年度の基金は7億5,000万円以上あります。基金の一部を使って国保税を引き下げることが十分可能です。命を守るべき国民健康保険、皆保険制度が加入者の生活を苦しめることになってはなりません。国保税を引下げて命と暮らしを守るべきです。

以上、意見を述べます。

○議長（竹岡昌治君） ほかに御意見ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第70号を採決いたします。本案に対する委員長報告は原案認定であります。本案について、原案のとおり認定することに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（竹岡昌治君） 挙手多数であります。よって、本案は原案のとおり認定されました。

日程第4、議案第71号令和2年度美祢市環境衛生事業特別会計決算の認定についての討論を行います。本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第71号を採決いたします。本案に対する委員長報告は原案認定であります。委員長報告のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり認定されました。

日程第5、議案第72号令和2年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計決算の認定についての討論を行います。本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第72号を採決いたします。本案に対する委員長報告は原案認定であります。委員長報告のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり認定されました。

日程第6、議案第73号令和2年度美祢市介護保険事業特別会計決算の認定についての討論を行います。本案に対する御意見はございませんか。三好議員。

○13番（三好睦子君） 反対の立場で意見を述べます。

ヘルパー派遣の回数の制限、1回当たりの介護時間が短縮になったこと、介護保険制度の一部が新総合事業に移行されたこと、介護認定審査会費が予算に対して使われなかった、不用額が550万円以上出ています。このことは、介護認定を受ける前には、まず、認定なしのチェックリストの記入が導入されたためだと思います。これが不用欄——不用額の膨らんだ要因かと思われま。必要な介護は受けられるようにするべきではないかと思ひ、意見を述べます。

○議長（竹岡昌治君） ほかに御意見ございませんか。杉山議員。

○7番（杉山武志君） 私は賛成の立場で意見を申し上げさせていただきます。

ただいま三好議員より、チェックリストの導入等のお話が出ましたが、介護認定、これにつきましては、委員会の中で変更申請ができるというお話も出ておりました。認定の結果が不具合があれば、変更手続をすればよろしいわけですから、その点を踏まえまして、この意見に賛成いたします。

○議長（竹岡昌治君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第73号を採決いたします。本案に対する委員長報告は原案認定であります。本案について、原案のとおり認定することに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（竹岡昌治君） 挙手多数であります。よって、本案は原案のとおり認定されました。

日程第7、議案第74号令和2年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定についての討論を行います。本案に対する御意見はございませんか。三好議員。

○13番（三好睦子君） 日本共産党は、75歳という年齢による差別医療と高齢者負担増の後期高齢者医療制——保険——医療保険制度は廃止して、高齢者が安心して医療が受けられるようにするべきだと主張しています。

今回の議案74号の令和2年度の決算状況を見ますと、後期高齢者医療保険の軽減措置が段階的に廃止されています。

また、令和2年度は、2年ごとに保険料が改正され——見直しされる年にして、高齢者の負担が重くなっています。したがって、この議案に反対いたします。

○議長（竹岡昌治君） ほかに御意見ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（竹岡昌治君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第74号を採決いたします。本案に対する委員長報告は原案認定であります。本案について、原案のとおり認定することに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（竹岡昌治君） 挙手多数であります。よって、本案は原案のとおり認定され

ました。

以上をもちまして、今期定例会に付議されました事件は全て終了いたしました。

これにて、令和3年第3回美祢市議会定例会を閉会いたします。大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

午前10時36分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

令和3年10月13日

美祢市議会議長

会議録署名議員

〃